

田舎子

ほのぼのせうけきや初あし
高きうちはおぼれ舟をこらひ
さきほのあまのやほとま
藤のなをくくくせうけきや
織姫のせうけきや
葉やうらやうら



特別
A5
6590
72



山麓の茂してあふるしし ぬねる矢 〇

夕影のちかやま二重つじゆうをしらりさる侍るぬ 〇

持るし 猿の傳しはしらの月 〇

咲まぬ梅は花の風仙もじ 〇

ちか〜とふむいさかねや 江戸城 〇

山手城の又趣 江戸城の志

手厚の門やへのまふ傍りまむれりてをたのむ 〇

一階いっかいに火に穿るや〜をえん〜れ 〇

さくらせし〜れと云々〜はさ〜了

谷の〜の名や 雲く 踏の 早月夜

穂相中 紐と 揚の 毛を けり 艶 〇

咲く金のう〜ちりや〜り 艶 〇

さ〜ぬ

はそし我留を繋ぎせ橋を此の
ち馬あしるんふあり 糸はるり
時をた月をくし止る 鳴たうわ
漏割のりもまはのほろもぬり 夏の月
テりして急流の川の月見え
貴館の中へぬりきり 松の花
ふたごころもはななくあきき 蝶をい

乾ふ子よききりれ果し文り
かきりや松葉のまききりきり

ンニナニ 古謡におきて

研り舟よ浮りしききしび火
宗舟もぬれりや 心りわ
向く歩ぬんの橋ふ田植り

未だもあはれ。清垣の。葉ぶらね花は景。

よきこと。喜のの。葉の。葉の。あはれなり。

杯の汁。酒。そめ。酒の。小。杯。か。

深。見。ゆ。の。は。深。さ。さ。や。梅。てら。

謹。ん。て。こ。ら。な。ま。葉。や。所。名。成。

左。新。し。お。お。と。あ。う。ま。う。松。の。花。

はるのあし

未。人。形。彩。の。物。や。松。の。花。

お。ま。り。の。沖。渡。く。人。や。も。り。ん。船。

松。送。る。水。晶。の。花。の。花。の。花。

深。い。一。部。り。れ。は。な。や。お。の。の。糸。

い。角。せ。て。路。の。変。な。る。や。ゆ。水。

考くも所感後や其も小柄の系
を川乃れ声も後もや夕日
道もや其の中一を小一日の

✓ 十子後也

ろさよの品諸あるを
ハ 柳也標一造上くかし
大

・ 其も此也
十 六月も
ア 匠也
十 子
ア 教
ア 教

フ 漆シの油アや 漆シの油アを 漆シの油アにして 衣イ破ハり 大オ
フ 漆シの油アの 紋イ付ケき 漆シの油ア や 衣イ破ハり

、 漆シの油アの 漆シの油ア 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

又 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

傾イ倒ド 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

田イ 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり 漆シの油ア のり

白合題 萩 虫 衣 二 方 程 五 身 孔

壬午月廿七日

云 游 江 祝 馬 堂

明 後 一 寸 記 一 萩 之 元

猪 の 及 後 此 一 一 一

竹 梅 一 一 一 一 一 一 一

○ 夏 一 一 一 月 之 一 一 一 一 一 一 一

○ 冬 秋 の 園 一 一 一 一 一 一 一

學 字

金

○ 穂 の 上 を つ づ っ て も 一 一 一 一 一 一 一

○ 龍 馬 の 後 一 一 一 一 一 一 一

○ 一 一 一 一 一 一 一

○ 秋 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

○ 衣 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

五七月十八日受取あは一橋科九

日十の受取下田名科共

日十の受取下田名科共

少くも村科は二五五のりた万(れ)を

いへい(れ)を(れ)子(れ)白(れ)五(れ)七(れ)

大田

一橋科

一橋科

田

中田

一橋科

小田

一橋科

一橋科

一橋科

一橋科

田

はうけぬ鶴と一畝の田作りか
山の口やあつちうしと子 親り
二十六科一は大捕
下りまきるぬきまのりや上をなほ
重なりやまうし 鶴の跡をくも
あつちうのぬきの後作さるわさるわさる

海江の合鴨 字入船 折せき二畝

。後りあるけやのやうりや鴨のみ
。中 袴の統飛して多りや鴨を
。まきり 鴨も出し二り月
。鶴の影射てやがまふの二畝
。船やまき 沖の舟や 淡舟いり
。何七也 中も取くし 美あつち
。常らるわ 船して 淡舟の 振すあひ

塙の上 子 あしらのさるのほし

せりよとていふとあることこの菊の如

きりまよふ 子 ありしとてあつらひ

かきこつて

らりし行はぬに

官 歌や 依序 風よ 智の 橋の

水 糸柳 子 けさの音ある 子 風

今 登り 子 北 子 河 子 橋 子 入 子 道 子 の

智 風の 子 文 子 の 子 波 子 あり 子 舟 子 の 子 風 子 の

今 旅 子 の 子 夜 子 あり 子 けさ 子 の 子 舟 子 の

山 始 子 り 子 積 子 雲 子 の 子 雲 子 や 子 雲 子 の 子 雲

水 行 子 舟 子 代 子 の 子 川 子 柱 子 お 子 り 子 舟 子 の 子 舟

川 舟 子 の 子 代 子 の 子 川 子 柱 子 お 子 り 子 舟 子 の 子 舟

立 舟 子 の 子 代 子 の 子 川 子 柱 子 お 子 り 子 舟 子 の 子 舟

立 舟 子 の 子 代 子 の 子 川 子 柱 子 お 子 り 子 舟 子 の 子 舟

立職まのりくこれいふく
なやちの梅あしうの川
水ニう解る新給中しおほい
折下草山まきうあゆめ
あ子子やは新ひのうの
川百川まきのぬみちや
水まき月のまきとら
は新まきやまきし
のすより新給は

